

令和4年度 徳島県立図書館協議会

日 時： 令和5年1月31日（火）
午後2時から

場 所： 徳島県立図書館 集会室1

【次第】

- 1 開 会
- 2 館長挨拶
- 3 委員自己紹介・職員紹介
- 4 会長・副会長選任
- 5 議 事
 - (1) 令和3年度事業実績について
 - (2) 令和4年度事業について
 - (3) 「徳島県立図書館サービス向上目標（第4期）」の推進状況について
 - (4) その他
- 6 閉 会

【配布資料】

資料1	令和4年度 徳島県立図書館年報（令和3年度事業実績）
資料2-1	令和4年度 行事記録
資料2-2	調査・郷土担当関係
資料2-3	資料・児童担当関係
資料2-4	図書館システム関係（第7期システム）
資料3	県立図書館サービス向上目標（第4期）の推進状況
資料4	規則等

徳島県立図書館協議会委員名簿

令和4年11月1日現在

氏名	職名
近藤 太	徳島県学校図書館協議会 副会長（瀬戸中学校長）
中 洋子	徳島県読書振興協議会 会長
長野 和佳子	NHK徳島放送局長
橋村 百恵	徳島県公立図書館協議会 副会長 （美波町日和佐図書・資料館長）
山元 みどり	徳島県高等学校PTA連合会 副会長
平井 松午	阿波学会 会長（徳島大学名誉教授）
余郷 裕次	鳴門教育大学大学院 学校教育研究科 教授
杉山 悦子	四国大学文学部 准教授
鈴木 綾子	徳島ペンクラブ 副会長・事務局長
柏木 唯那	四国大学文学部 学生

座 席 表

— 入 口 —

傍聴席

資料・児童担当 係 長 <input type="text" value="星"/>	調査・郷土担当 係 長 <input type="text" value="今 井"/>	調査・郷土担当 課長補佐 <input type="text" value="立 石"/>	企画振興担当 係 長 <input type="text" value="松 原"/>	企画振興担当 係 長 <input type="text" value="小 松"/>
--	--	---	---	---

資料・児童担当 主査兼係長 (11-ﾀﾞｰ) <input type="text" value="高 橋"/>	調査・郷土担当 課長補佐 (11-ﾀﾞｰ) <input type="text" value="田 村"/>	企画振興担当 課長補佐 (11-ﾀﾞｰ) <input type="text" value="中 火"/>	館 長 <input type="text" value="小 林"/>	副 館 長 <input type="text" value="岡 山"/>
--	---	--	---	---

鈴木 委員	○	○	柏木 委員
余郷 委員	○	○	杉山 委員
山元 委員	○	○	平井 委員
橋村 委員	○	○	長野 委員
中 委員	○	○	近藤 委員

プロジェクト

副会長	有線M 会長
-----	-----------

有線M

パソコン

スクリーン

(2) 令和4年度事業実施状況について

資料2-1

令和4年度行事記録

○おもな集会行事

令和4年12月末現在

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人員
4月29日	令和3・4年度阿波学会小松島市総合学術調査中間報告会 (小松島市サウンドハウスホール)	小松島市関係者 各班代表者 一般参加者	令和3・4年度阿波学会小松島市総合学術調査の中間発表(考古班、民家班、方言班、地理班、民俗班)	48
4月29日 ～5月29日	令和4年度阿波学会学術調査	各班調査員	小松島市内学術調査	38
5月25日	阿波学会理事会・評議員会 (ハイブリッド)	阿波学会役員 事務局員	令和3年度決算、令和4年度計画について	19
5月31日	徳島県読書振興協議会正副会長会	正副会長	令和3年度読書振興大会、理事会・総会について	8
6月2日	第1回 徳島県図書館職員研修会 (ハイブリッド)	講師： 杉岡 和弘 氏 加納 尚樹 氏	講義：「子どもの本を選ぶ」 講義：「気づきを上げる実践型接遇研修(入門編)」(リモート)	64
6月5日	初めての方のための読み聞かせ講座	講師： 渡邊 美恵 氏	絵本の読み聞かせについての講義とワークショップ	8
6月24日	阿波学会編集委員会	阿波学会編集委員	「阿波学会紀要64号」について	11
7月15日	第2回 徳島県図書館職員研修会 (ハイブリッド)	講師： 青柳 英治 氏 藤田 順 氏	講義：「市民参加と協働による図書館づくり」(リモート) 講義：「レファレンス協同データベースの活用」	46
7月30日	夏休み出前講座「まなぼうさい教室」	徳島県防災人材育成センター職員	地震や津波の特徴を学び、家庭や地域でできる日頃の備えについての講座を開催	9
8月1日 ～31日	令和4年度阿波学会学術調査	各班調査員	小松島市内学術調査	5
8月21日	図書館探検隊	児童担当	小学生対象。図書館の書庫・事務室など普段は入れない場所を案内	6
8月21日	なつのおはなし会	おはなし会ボランティアスタッフ	手遊び、絵本、しかけペーパー、紙芝居など	14
9月13日	徳島県読書振興協議会優良読書グループ選考会	会長・副会長	全国及び徳島県の優良読書グループ推薦団体を選考	10

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人員
9月15日	徳島県公共図書館協議会 第1回研究・研修委員会	研究・研修委員	令和4年度図書館大会及 び研究テーマについて	9
9月22日	図書館職員相互訪問研修 (オンライン)	徳島大学附属図書館・鳴門教育 大学附属図書館 ・県立図書館職員	事例発表： 「後藤家文書」について	22
9月30日	阿波学会編集委員会	阿波学会編集委員	「阿波学会紀要64号」に ついて	12
10月6日	第3回 徳島県図書館職員研修会 (ハイブリッド)	講師： 打浪 文子 氏 田辺 智子 氏	講義：「わかりやすい表現でサービスを届けよう」(リモート) 講義：「図書館評価の有効性—公共図書館を事例として—」(リモート)	51
10月22日	徳島県読書振興大会 (那賀町大会) (ハイブリッド) 那賀町地域交流センター	講師： 大澤 善和 氏 (阿波太布製造技法保存 伝承会)	大会テーマ 「那賀の源流、読書の原点」	35
10月23日	おはなし会スタッフミーティング	おはなし会ボランティア	令和4年度おはなし会実施状況について ほか	14
11月2日	阿波学会編集委員会	阿波学会編集委員	「阿波学会紀要64号」に ついて	8
11月3日	あきのおはなし会	県立図書館おはなし会ボランティア スタッフ	大型絵本、紙芝居、手遊び、など	54
11月23日	えいごのおはなし会	鈴江 晶子 氏	大型絵本・絵本の読み聞かせ、手遊び (うた)	19
12月4日	クリスマスおはなし会	四国大学幼児教育 研究室	うた、絵本の読み聞かせ、 工作、影絵、手遊びなど	19
12月6日 ～9日	令和4年度 中国・四国地区図書館地区別研修	講師： 近藤 たみ 氏 糸賀 雅児 氏 村井 麻衣子 氏 國松 完二 氏 野口 武悟 氏 磯本 宏紀 氏 中井 孝幸 氏	情報化の進展など図書館に関する最新のテーマや地域における課題等についての研修を開催 対象：勤務経験が概ね3年以上の司書	211
12月7日 ～13日	文化の森人権啓発展 (文化の森6館共催) 会場：近代美術館ギャラリー		県立図書館所蔵の人権関係資料・識字関係資料を 展示	262
12月22日 ・23日	協力業務実務担当者会	講師： 富士通ジャパン	「とくしまネットワーク 図書館システム」の更新 について (操作説明)	46

- おはなし会 毎月2回／赤ちゃんとおはなし会 月1回
奇数月は「赤ちゃんとおはなし会&助産師さんとはなそう！」
(10月からは毎月)
えいごのおはなし会 11/23 (2/11 予定)、クリスマスおはなし会 12/4
- まなびの森講演会 (放送大学徳島学習センターと共催) 11月は中止
4/23, 5/21, 6/25, 7/23, 8/27, 9/24, 10/15, 12/17
(1/28, 2/18, 3/18 予定)
- レコード鑑賞会 まなびの森講演会開催日に実施
7/23, 8/27, 9/24, 10/15 (1/28, 2/18, 3/18 予定)

令和3・4年度 展示事業

○企画展

場所：1階 展示ギャラリーほか

会 期	展 示 名
令和4年 2月4日(金) ～4月10日(日)	「水木しげると妖怪」 〈担当：児童〉
4月12日(火) ～5月15日(日)	「どうも、県立図書館です！」 〈担当：各担当〉
5月17日(火) ～7月18日(月)	「首相100代」 〈担当：資料〉
7月20日(水) ～9月19日(月)	「図書委員と本の旅－電子図書館に迷い込む－」 徳島県学校図書館協議会高校部会との共同展示 〈担当：企画振興〉
9月21日(水) ～11月20日(日)	「瀬戸内寂聴－文学とその時代－」 〈担当：郷土〉
11月22日(火) ～令和5年2月5日(日)	「賞をとった絵本－日本絵本賞－」 〈担当：児童〉
令和5年 2月7日(火) ～4月9日(日)	「日本の暴れ川」 〈担当：参考〉

令和4年度 ミニ展示

令和4年12月末現在

ミニ展示コーナー（検索コーナー横）

期間	テーマ
3/23～4/17	新年度を「新書」で！
4/19～5/29	川端康成 没後50年
5/31～7/3	懐かしい！新しい！百貨店・デパートの世界
7/5～8/7	徳島県男女協調月間 <small>（ときわプラザ紹介）</small>
8/9～8/28	松本清張 没後30年
8/30～9/25	自然災害に備えよう！
9/27～10/19	着て・見て・知って着物を楽しもう！
10/21～11/6	労働問題
11/8～11/27	ストップ！糖尿病
11/29～12/25	臓器移植普及啓発（参考）
12/27～1/29	新年を「新書」で！

しごと応援コーナー

期間	テーマ
2/4～4/19	決算&納税申告
4/21～6/16	新入社員・新社会人のための本
6/18～8/16	良い仕事は身だしなみから ビジネスファッション
8/19～	働くために、生きるために、最も重要なことは・・・睡眠だ!!
11/8～11/16	労働問題
11/15～1/9	2022のキーワード 円高・ドル安

郷土資料コーナー

期間	テーマ
3/18～5/15	活躍する徳島県人-2021年の出版物より-
5/17～7/10	徳島ふるさとの味
7/12～9/19	調べよう！徳島県
9/21～11/30	瀬戸内寂聴-文学とその時代
12/1～1/9	年末年始に徳島が舞台の小説を
12/6～1/9	「神代踊」ユネスコ無形文化遺産登録決定

ブラウジングコーナー

期間	テーマ
5/13～5/29	追悼・早乙女勝元
6/17～7/3	とくしまの川
6/19～6/26	追悼・森崎和江
7/1～7/31	藍推進月間
7/22～8/28	マナーアップ
8/31～9/13	追悼・稲盛和夫
9/28～10/14	追悼・佐野真一
10/5～10/19	追悼・アントニオ猪木
11/2～11/16	紫綬褒章受章・大沢在昌

ブックトラックによるミニ展示

期間	テーマ
2/4～4/26	春を待つ
4/27～5/30	4月30日は図書館記念日 5月は図書館振興月間
6/1～8/3	マスクの下でも 熱中症に気をつけて！
8/4～8/30	ネコ・猫・ねこ
8/31～10/16	ふくからに・・・台風（typhoon）
10/18～12/4	お鍋の季節になりました
12/6～1/9	Merry Christmas!&Happy New Year!

こどもの本コーナー

○児童・毎月の企画展示	
期間	テーマ
4月	としょかん・本
5月	おでかけ
6月	天気（雨・風・雷・太陽）
7月	スポーツ
8月	おばけえほん
9月	空（月・星・雲・虹）
10月	ごはんのえほん
11月	のりものえほん
12月	パーティー
○児童・ミニ展示	
期間	テーマ
3/8～4/17	春の本
4/10～5/10	追悼 デビッド・マッキー
4/19～5/15	子どもたちの読書のために
5/17～6/19	かぞく
6/7～7/3	ここ半年で出版された絵本
6/21～7/10	たなばた
7/12～8/28	恐竜
7/12～8/28	自由研究
7/16～7/30	追悼 あいはらひろゆき
7/30～8/17	地震・津波
8/2～8/28	戦争&平和
8/30～10/2	防災
10/1～10/30	食品ロス
10/4～10/30	ハロウィンの本
10/7～10/23	追悼 山脇百合子
11/1～11/27	日本の文化
11/22～2/5	受賞作品 絵本
11/29～12/25	クリスマスの本
12/23～12/28	保険協会寄贈の本

調査・郷土担当関係

1. 電子書籍について

(1) 利用統計

	タイトル数(累計)	閲覧件数
平成29・30年度	492	1,344
令和元年度	958	2,918
令和2年度	1,959	9,358
令和3年度	2,518	10,232
令和4年度12月末	2,978	11,379

(※平成29年度2月からは、試験的公開)

平成30年4月から開始した電子書籍閲覧サービスは、令和4年度で5年目に入り、閲覧件数は順調に伸びている。令和3年度末で、電子書籍数が2,518 閲覧数が10,232回となっており、サービス開始当初の平成30年度と比較し、書籍数で約5倍となり、閲覧数も順調に伸びている。

全国的な公共図書館における電子書籍導入状況について、令和4年10月現在、

- ・実施自治体 436自治体 (+112 7月 324自治体から)
- ・電子図書館 344館 (+30 7月 314館から)

公共図書館数における電子図書館数は約38%となっており、増加拡大傾向が続いている。

(2) GIGAスクール構想における電子書籍利用

令和2年7月から、教育委員会と連携している「県立学校・電子図書館」事業を令和4年度以降も継続している。県立学校の教員・生徒約2万人あまりに、サービス利用のためのID・パスワードを提供し、学力向上と家庭学習の支援に努めている。

令和3年4月には、県立図書館のホームページに学校向けのトップページを開設し、生徒向け(小説・エッセイ等)(学習等)、就職関連資料、資格試験関連資料など生徒向けコンテンツの紹介バナーを設置するなど、利便性の向上を図ってきた。

令和4年度には、例年企画担当が開催している、高等学校図書館協議会高校部会と連携した高校の図書委員が薦める書籍紹介の企画展において、電子書籍をテーマにした「図書館委員と本の旅～電子図書館に迷い込む～」(7月20日～9月19日)を開催し、若い世代の電子書籍閲覧サービスの更なる普及・拡大を図った。

(3) 広報活動

各関係機関の会員や教員・生徒等に当閲覧サービスの広報チラシの配布を依頼するなど、利用者の裾野を広げるために、幅広く広報活動を実施している。

広報活動先

- 働いている若者や中高年を対象に県内経済団体(商工会議所連合会等)
- 高齢者を対象に県老人クラブ連合会やとくしま“あい”ランド推進協議会
- 教員・児童・生徒を対象に当館近隣の幼稚園, 小学校, 中学校, 高等学校及び支援学校

(4) 図書館新システムにおける統合検索の利便性について

令和5年1月より、紙資料と視聴覚資料に加え、電子書籍も検索対象となる統合検索が実現。これにより、あらゆる資料をまとめて検索できるため、求める資料へのアクセスが容易となる。また、バーチャル書棚により、本棚の前に立つイメージで同じ分野の資料をまとめて見ることができ、興味の範囲を広げる利点が生まれる。

(5) 次年度以降の取り組みについて

GIGAスクール構想の更なる推進に向け、今年度実施している当館近隣教育機関などへの広報活動の状況を踏まえ、市町村立の学校現場における教職員等への普及活動を展開し、当サービス活用に繋げていきたいと考えている。

徳島県立図書館電子書籍閲覧サービス

小学生向け資料

小学生向けの本をそろえました。
えほん、クイズ、あそび、べんきょう、いろんな本を楽しんでください。



電子書籍閲覧サービスのメリット

人気検索ワードの自動表示、特集コーナー設置、試し読み、全文検索など豊富な機能を標準装備。スマートフォンからも快適なレスポンスでご覧いただけます。

電子書籍閲覧サービス利用方

職場・ご家庭など、県立図書館の外で利用するには、「Myライブラリサービス」の利用登録が必要になります。
「Myライブラリサービス」の登録・利用方法については、「Myライブラリサービスの登録」というチラシをご覧ください。
ご自分のID・PWで「Myライブラリサービス」に入られると、「電子書籍閲覧サービス」のアイコンがありますので、クリックしますと、トップ画面に入ることができます。



徳島県立図書館電子書籍閲覧サービス

先生(小学校)向け資料

先生(小学生)向けの本を揃えました。
GIGAスクール、授業計画、児童指導などの参考にお使いください。



電子書籍閲覧サービスのメリット

人気検索ワードの自動表示、特集コーナー設置、試し読み、全文検索など豊富な機能を標準装備。スマートフォンからも快適なレスポンスでご覧いただけます。

電子書籍閲覧サービス利用方

職場・ご家庭など、県立図書館の外で利用するには、「Myライブラリサービス」の利用登録が必要になります。
「Myライブラリサービス」の登録・利用方法については、「Myライブラリサービスの登録」というチラシをご覧ください。
ご自分のID・PWで「Myライブラリサービス」に入られると、「電子書籍閲覧サービス」のアイコンがありますので、クリックしますと、トップ画面に入ることができます。



資料・児童担当関係

1. 子どもの読書活動支援について

(1) 子どもの本の充実

子どもの本の資料センター的機能を図るため、多様な資料の収集に努めており、「知の拠点」事業における子どもの本充実費200万円で、翻訳の外国語絵本・童話を中心に購入し、さまざまな言語に対応するため海外の秀作絵本や日本の絵本作品の翻訳絵本等（英語、中国語、ベトナム語ほか）も購入した。新たな読書テーマの発見につながる、ブックリストやパスファインダーの作成、資料展示を実施した。

(2) 主な実施イベント

- ①おはなし会
- ②「初めての方の読み聞かせ講座」
- ③「まなぼうさい教室」
- ④子どもの読書研修会（兼 当館おはなし会ボランティアスタッフ研修会）

(3) 外部団体との連携

①学校

調べ学習に必要な図書を市町村立図書館を通じて貸出したり、特別支援学校に職員が訪問し、図書館業務に関する相談とサービスの案内を行った。遠足やインターンシップの受入も積極的に行っている。

②読み聞かせ団体等

学校や施設において読み聞かせ活動を行っている団体等に、紙芝居舞台やエプロンシアターなどの備品を貸出している。

2. 読書バリアフリーについて

令和元年6月に読書バリアフリー法（「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」）が公布・施行され、県においても令和3年7月に「徳島県読書バリアフリー推進計画」が策定された。

当館における障がい者サービスや多文化サービスの取り組みとしては、デジタル録音図書や大活字本、洋書などの購入のほか、各種手帳の交付を受けている方などに郵送貸出を行っている。また、1月から稼働した図書館新システムでは、インターネットから利用者登録を行うことが可能となっており、インターネットで利用者登録が完了すれば、来館することなく、当館の電子書籍閲覧サービスを利用できるようになった。音声による読み上げができる電子書籍も増やしていき、今後も様々な方法で資料にアクセスできる機会を提供していく。

図書館システム関係(第7期システム)

1. とくしまネットワーク図書館システム更改について

(1) 平成29年2月から稼働していた徳島県立図書館第6期システムの保守委託契約期間の終了に伴い、令和5年1月24日から第7期の新システムが稼働。

(2) システム更改にあたっては、「とくしまネットワーク図書館システム更改等業務委託候補選定委員会」を設置し、プロポーザル方式で業者を選定した。

選定委員には、図書館についての識見を有する方として、本協議会の委員でもある平井松午氏、杉山悦子氏に加え、図書館におけるICT活用に関して識見を有する方として、徳島文理大学教授・古本奈奈代氏にも就任していただき、本県経営戦略部スマート県庁推進課長等の県職員も含めた合計6人の委員の方に、選定委員会に参加していただいた。

(3) 選定委員会は持ち回り審議も含め3回開催し、7月21日の第3回選定委員会において「富士通 Japan 株式会社徳島支社」を選定した。

2. 新システムの特徴

(1) 利用者向け機能等の特徴

① スマートフォンでの利便性向上

・スマートフォンの画面で貸出カードのバーコードや、探している資料の資料バーコードを表示させることが可能となった。

② 非来館型サービス

・インターネット上で利用者登録を行えるようになり、来館することなく当館の電子書籍閲覧サービスを利用することが可能になった。

・Web 書棚機能により、端末画面上で、当館が所蔵する書籍の表紙や背表紙を見ながら、興味ある本を探すことが出来るようになった。

(2) 職員向け業務用システムの特徴

① 特別整理期間に行う蔵書点検作業の省力化

② 展示リストや図書原簿などの作成作業の効率化

③ 督促作業の効率化

サービス向上目標（第4期）数値目標

令和4年度の数値は12月31日現在

図書館法に基づいた図書館評価を行うため、以下の項目を数値目標として掲げ、評価を行います。

評価判定用数値		令和元年度実績	令和2年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 人と資料をつなぐ	県内公共図書館の県民一人当たり貸出冊数	5	5	目標	5冊以上				
				実績	5	次年度に集計			
	協力貸出冊数 (含・学校図書館)	23,408	24,413	目標	2万冊以上				
				実績	27,303	20,800			
	入館者数	432,017	370,268	目標	40万人以上				
				実績	349,486	263,684			
② 知への探究	県立図書館主催講演会・講座への参加者数	218	403	目標	200人以上				
				実績	252	389			
	電子書籍閲覧件数	2,918	9,200	目標	6,000タイトル以上				
				実績	10,232	11,379			
	レファレンス事例インターネット公開件数	66	129	目標	50件以上				
				実績	67	年度末に公開			
③ 地域を知る	郷土資料収集冊数	3,429	3,250	目標	3,000冊以上				
				実績	3,513	2,456			
	行政支援サービスの実績	33	48	目標	30件以上				
				実績	49	15			
④ 読書を愉しむ	資料紹介展示回数	79	74	目標	70回以上				
				実績	90	66			
	児童書の年間購入冊数	3,770	3,564	目標	3,200冊				
				実績	3,445	2,406			
	読書バリアフリー収集点数	465	409	目標	350点以上				
				実績	397	353			

*図書館法 第7条の3

(運営の状況に関する評価等)

図書館は、該当図書館の運営状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

1 人と資料とをつなぐ図書館

当館では昭和63年から市町村の図書館や教育委員会を巡回する協力車を運行し、県内公立図書館等への協力貸出や図書館間の相互貸借を行い、すべての県民が居住地にかかわらず同じような図書館サービスが利用できるよう図っています。さらに平成30年度から「電子書籍閲覧サービス」といった非来館型サービスを開始しており、今後も他の図書館等との協力やICTサービスの充実によりすべての地域の県民に図書館資料を提供していきます。

評価判定用数値			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 人と資料をつなぐ	県内公共図書館の県民一人当たり貸出冊数	目標	5冊以上				
		実績	5	—			
	協力貸出冊数(含・学校図書館)	目標	2万冊以上				
		実績	27,303	20,800			
	入館者数	目標	40万人以上				
		実績	349,486	263,684			

取組実績

・平成29年2月から稼働していた徳島県立図書館第6期システムの保守委託契約期間の終了に伴い、令和5年1月24日から第7期の新システムが稼働。
 ・「とくしまネットワーク図書館システム」の利用方法を周知すると共に、活発な図書館活動の実現に向けて、相互貸借・協力貸出担当者間で図書館運営に関する意見交換をした。

2 探究する人をサポートする図書館

当館のレファレンスでは、司書による調査・相談はもとより、各種データベースを備え、Webでは「調べものナビ」を公開し、事典や図鑑類は電子書籍でも提供しており、今後も、県民がこれらを十分活用して、深い探究を行えるよう、レファレンスの技能とツールの充実に努め、サポートしていきます。

評価判定用数値			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
② 知への探究	県立図書館主催講演会・講座への参加者数	目標	200人以上				
		実績	252	389			
	電子書籍閲覧件数	目標	6,000タイトル以上				
		実績	10,232	11,379			
	レファレンス事例インターネット公開件数	目標	50件以上				
		実績	67	年度末に公開			

取組実績

・「徳島県図書館職員研修会」や「初めての方のための読み聞かせ講座」、「中国・四国地区図書館地区別研修」等、県内外各市町村図書館職員の研修や読み聞かせをする方への学びの機会等、県内の図書館活動をサポートする講演会・講座が行われた。
 ・電子書籍閲覧サービスにおいて、働く世代や高齢者、学校等に幅広く広報活動を実施し、利用者の裾野を広げた。また、7月～9月まで「5分間全文試し読みプラン」を実施した。
 ・レファレンス事例は、年度末に今後活用できるレファレンス事例を選別し、当館ホームページ及び国立国会図書館レファレンス協同データベースに公開している。

3 徳島を知って、未来を創る人の図書館

都道府県立図書館には、その地域の郷土資料センター的役割があり、当館では歴史的資料から現在の地域社会を映す資料まで満遍なく収集・保存しています。今後も、県民がこれらを十分活用して徳島への理解を深め、歴史・文化の継承や、これからのよりよい地域社会づくりに取り組めるよう、資料を充実し、効果的に紹介して支援していきます。

評価判定用数値			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
③ 地域を 知る	郷土資料収集冊数	目標	3,000冊以上				
		実績	3,513	2,456			
	行政支援サービスの実績	目標	30件以上				
		実績	49	15			
取組実績							
<p>・郷土の文化を永続的に継承していくため、徳島に関する内容の資料や徳島県出身の著者の資料を保存用・閲覧用・貸出用として複数部収集することに努めた。</p> <p>・行政支援として、県議会図書室の展示のために資料の紹介と提供を行った。(デジタル・デバイドなどをテーマとする展示4回)</p>							

4 読書を愉しみ心を育む人の図書館

当館は、蔵書が常に幅広く新鮮な構成となるよう、また、子どものときから読書に親しめることなどに留意して選書に努めてきました。これからも県民ひとりひとりの様々なニーズに応えられるよう多様なテーマの資料を収集するとともに、生涯を通じた「知る」「学ぶ」場として環境を整えることにより、県民の豊かな読書活動を応援します。

評価判定用数値			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 読書 を 愉 し む	資料紹介展示回数	目標	70回以上				
		実績	90	66			
	児童書の年間購入冊数	目標	3,200冊				
		実績	3,445	2,406			
	読書バリアフリー収集点数	目標	350点以上				
		実績	397	353			
取組実績							
<p>・多種多様な内容、形態の資料の収集に努めた。常設の「しごと応援コーナー」「セカンドライフ応援コーナー」「子育て応援コーナー」と、様々なテーマを取り上げた資料展示を切れ目なく、館内各所で実施した。</p> <p>・子どもの本充実費を活用し、絵本、童話、児童文学の本等を選定。海外(中国・ベトナム)の絵本、海外児童文学賞受賞作品など洋書も充実させ、あわせて古くなった児童書の買い換えなどを行った。通常のおはなし会の他に英語のおはなし会を開催した。</p> <p>・バリアフリー図書(大活字本や録音図書、洋書等)を積極的に購入した。教育委員会主催の読書バリアフリー推進研修会にデージー図書等を貸出し、連携を図った。</p>							

図書館法（昭和25年4月30日・法律第118号）〈抄〉

（図書館協議会）

第14条 公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

2 図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

第15条 図書館協議会の委員は、当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会（特定図書館に置く図書館協議会の委員にあつては、当該地方公共団体の長）が任命する。

第16条 図書館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他図書館協議会に関し必要な事項については、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

徳島県文化の森総合公園文化施設条例（平成2年3月26日・徳島県条例第11号）〈抄〉

（協議会）

第7条 知事の附属機関として、次の表の上欄に掲げる協議会を置き、これらの協議会の所掌事務は、それぞれ同表の下欄に掲げるとおりとする。

協議会の名称	所掌事務
徳島県立図書館協議会	図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べること。

2 協議会は、委員10人以内で組織する。

3 徳島県立図書館協議会、徳島県立博物館協議会、徳島県立近代美術館協議会及び徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから任命するものとする。

4 徳島県立文書館協議会及び徳島県立二十一世紀館協議会の委員は、学識経験のある者及び関係行政機関の職員のうちから、知事が任命する。

5 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

6 委員は、再任されることができる。

7 前各項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

徳島県立図書館協議会規則（令和2年3月24日・徳島県規則第39号）

（趣旨）

第1条 この規則は、徳島県文化の森総合公園文化施設条例（平成二年徳島県条例第十一号）第七条第七項の規定に基づき、徳島県立図書館協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（会長及び副会長）

第2条 協議会に、会長及び副会長各一人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第3条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会の会議は、委員の半数以上の出席がなければ、開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

（雑則）

第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。